

公共事業等施行状況調（令和4年12月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	年 度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (12月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		4年度 C	C/A	3年度 D	D/B	
		4年度	3年度	4年度 A	3年度 B					
1	治山・治水	31,974	26,343	22,729	17,240	14,336	63.1	13,042	75.6	
2	農林・水産	39,201	33,546	31,935	25,822	22,147	69.4	21,202	82.1	
3	道 路	70,899	59,093	48,586	38,142	30,005	61.8	32,913	86.3	
4	港湾・空港	9,155	7,164	4,748	3,453	2,704	57.0	3,190	92.4	
5	下水道・公園	9,400	9,647	2,329	2,400	1,149	49.3	1,999	83.3	
6	住 宅	1,489	2,513	1,051	2,085	911	86.7	1,276	61.2	
7	庁 舎	2,467	3,609	2,315	3,342	1,923	83.1	1,863	55.7	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	4,047	19,169	2,780	15,607	1,817	65.4	7,447	47.7	
11	工業用水・上水道等	950	1,034	83	106	78	94.0	96	90.6	
12	災害復旧	954	1,088	809	1,072	411	50.8	699	65.2	
13	その他	7,584	9,033	4,274	6,550	3,099	72.5	4,834	73.8	
	計	178,121	172,238	121,639	115,820	78,581	64.6	88,562	76.5	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和4年12月末）

（単位：社、件、百万円、％）

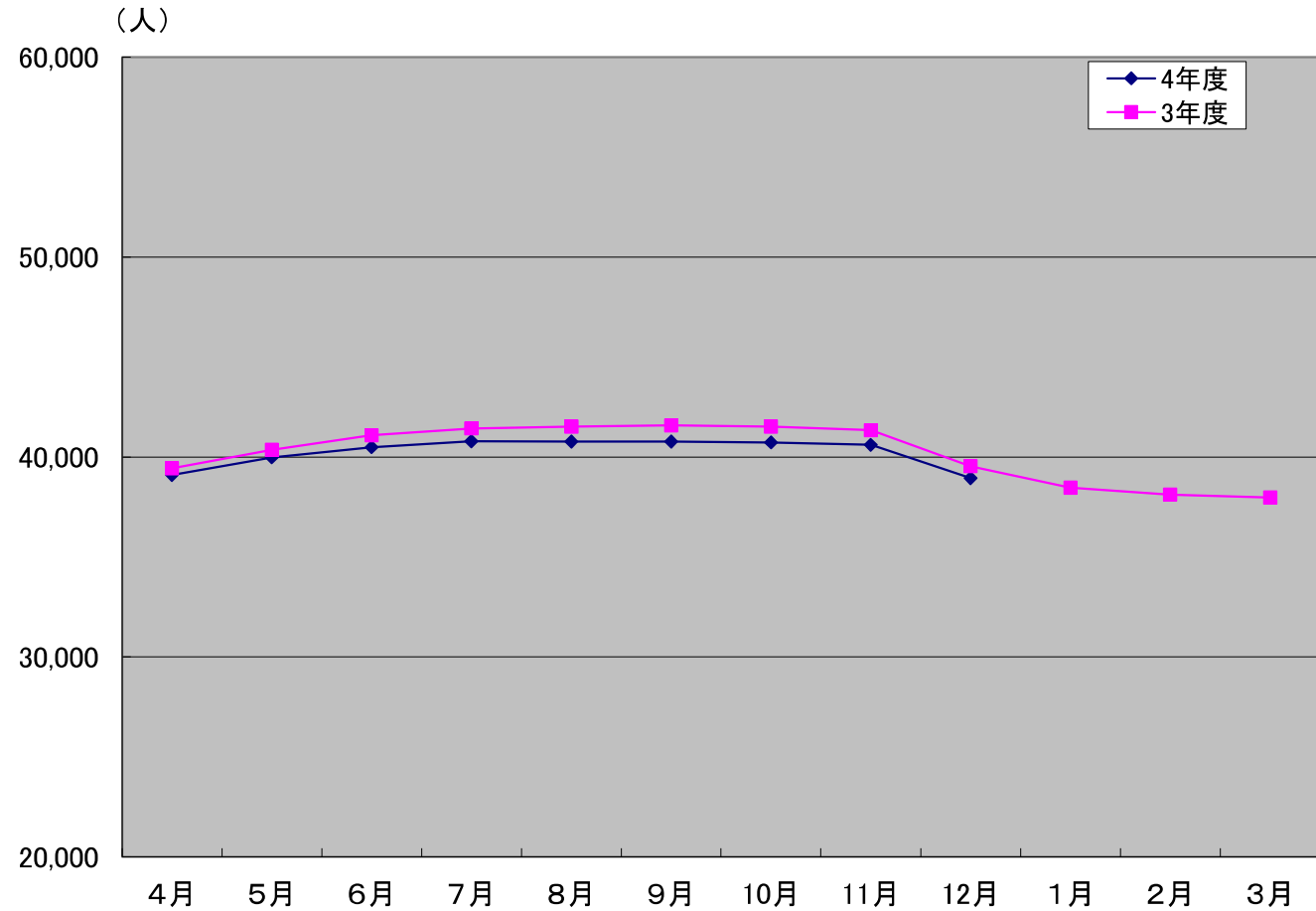
事項	予算措置額		発注実績											
	(A)		合計 (B)			県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)		
区分	事業費	本工事費	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額
4年度	178,121	121,639	22,889	2,283	78,581	22,347	2,185	71,177	500	84	4,260	42	14	3,144
					64.6	97.6	95.7	90.6	2.2	3.7	5.4	0.2	0.6	4.0
前年度比	103.4	105.0	85.7	83.3	88.7	85.5	83.2	90.9	100.4	89.4	85.8	58.3	70.0	59.5
3年度	172,238	115,820	26,694	2,740	88,562	26,124	2,626	78,311	498	94	4,962	72	20	5,288
					76.5	97.9	95.8	88.4	1.9	3.4	5.6	0.3	0.7	6.0

被保険者数

	4年度	3年度
4月	39,104	39,424
5月	39,983	40,359
6月	40,493	41,085
7月	40,790	41,421
8月	40,778	41,521
9月	40,773	41,577
10月	40,728	41,516
11月	40,608	41,333
12月	38,934	39,528
1月		38,465
2月		38,115
3月		37,973

前月末被保険者数	40,608
資格取得者数	370
資格喪失者数	2,053
転入者数	12
転出者数	3
今月末被保険者数	38,934

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)12月末



建設資材の需給・価格動向調査 (5年1月)

区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前 月 比 (%)	価 格 (円)	前 月 比 (%)	価 格 (円)	前 月 比 (%)	価 格 (円)	前 月 比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	15,400	0.0	15,400	0.0	15,400	0.0	15,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	560	0.0	560	0.0	560	0.0	560	0.0	22,400円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	3,060	0.0	3,060	0.0	3,060	0.0	3,060	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	6,160	0.0	6,160	0.0	6,160	0.0	6,160	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	40,600	0.0	40,600	0.0	40,600	0.0	40,600	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	13,600	4.6	13,600	0.0	16,000	0.0	14,400	1.4	
砕石等	洗砂	m3	3,300	0.0	3,200	0.0	4,500	0.0	3,667	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	4,000	0.0	4,100	5.1	4,700	0.0	4,267	1.6	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	3,100	0.0	3,200	6.7	3,500	0.0	3,267	2.1	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	116,000	0.0	116,000	0.0	116,000	0.0	116,000	0.0	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	108,000	-13.6	108,000	-13.6	108,000	-13.6	108,000	-13.6	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	15,100	0.0	15,400	0.0	14,300	0.0	14,933	0.0	149,330円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	103,000	0.0	103,000	0.0	103,000	0.0	103,000	0.0	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	120.0	-0.8	120.0	-0.8	120.0	-0.8	120.0	-0.8	120,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	81.0	-1.2	81.0	-1.2	81.0	-1.2	81.0	-1.2	81,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	2,250	0.0	2,250	0.0	2,250	0.0	2,250	0.0	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	129,000	0.0	129,000	0.0	129,000	0.0	129,000	0.0	

建設資材の需給・価格動向調査 (5年1月)

	需給動向								価格動向								備考		
	青森		弘前		八戸		県平均		青森		弘前		八戸		県平均				
	緩和	均衡	逼迫	緩和	均衡	逼迫	緩和	均衡	逼迫	安定	下落	上昇	安定	下落	上昇	安定		下落	
セメント		○			○			○					○				○		普通ポルトランド(バラ)でトン当たり15,400円と前月比変わらず。11月の青森県内の販売量は3万6千トン(協会調べ)で前年同月比1.2%減。メーカー各社は石炭価格高騰などで厳しくなった事業環境を改善すべく、販売価格の引き上げを急いでいる。主な需要家の生コンメーカーは製造コスト増に理解を示しつつも、3,000円以上の大幅な値上げに慎重な姿勢を崩していない。メーカーは売り腰を強め交渉を続ける意向だが、浸透には時間を要しそう。先行き、横ばいの公算大。
コンクリート製品		○			○			○					○				○		道路工事向け、農業土木向けとも昨年度比で県内出荷はやや増加している。10月からのセメントの追加値上げ表明を受け、製造コスト増による採算悪化に危機感を募らせているメーカー各社は、値上げの上積み求め交渉を継続している。需要家は難色を示してきたが、強腰の販売姿勢を受け、値上げの受け入れは避けられないとの見方が広まりつつあり、交渉に進展の兆し。先行き、強含みの公算大。
生コンクリート		○			○			○					○				○		県内の12月の出荷量は4万2千m3(生コン工組調べ)で前年同月比4.3%の減。青森地区では、昨年打ち出した値上げ浸透を目指し強腰で交渉を進めたことで、安定調達を優先した需要家が値上げ額の一部を受け入れた。協組は原材料や輸送コスト上昇分の価格転嫁が不十分として、売り腰を強める構えだが、需要家はさらなる値上げ受け入れには難色を示している。先行き、横ばいの公算が大きい。
砕石		○			○			○					○				○		生コン用、道路用とも出荷は低調に推移している。弘前地区のメーカー各社は、燃料高やダンプロックのひっ迫による輸送コストの増加、出荷量減少に伴う固定費率の上昇を理由に値上げを表明。採算悪化に危機感を募らせたメーカー各社は強腰で価格交渉を行い、安定調達を優先した需要家はこれを受け入れた。先行き、横ばいの公算が大きい。
小棒		○			○			○					○				○		SD295・D16でトン当たり116,000円と前月比変わらず。中小物件向け需要は低迷し、依然として商況は盛り上がり欠けている。メーカー各社は、原油やガスのエネルギー価格高騰による電力料金の上昇を背景に、値上げ交渉を継続。一方、需要家はさらなる製品価格の上昇には難色を示しており、現行価格水準で推移している。メーカーおよび流通筋は、値上げ未達分の早期浸透に向けて、引き続き強い販売姿勢を維持する構え。目先、強含みの公算大。
アスファルト		○			○			○					○				○		12月の県内出荷量は3万8千トン(合材協会調べ)で前年同期比33.4%の減。ストアス価格の下落を受けて、一部需要家は販売価格の見直しをメーカーに求めている。一方、メーカー各社は値上げ未達分の浸透を目指して交渉を継続。両者の主張は平行線をたどっており、進展する気配がみられない。目先、横ばいの公算大。
木材		○			○			○					○				○		管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり103,000円と前月比変わらず。11月の県内新設住宅着工戸数は458戸で前年同月比18.1%の減少(国土交通省調べ)。ウエイトの高い持家が前年同月比14.2%の減少、それに次ぐ貸家が同26.9%の減少などとなっている。ロシアの軍事侵攻や円安などによる物価上昇を背景に建築着工の低迷が続く、輸入材、国産材とも需給の緩和が続いている。先行き、弱基調が続く見通し。
油類		○			○			○					○				○		軽油はミニローリー渡りでリットル当たり120円、重油はローリー渡りでリットル当たり81円とともに前月比1円下落。原油相場は方向感を欠くなか、小幅な上下変動が続いている。一方、国内は燃料油価格激変緩和対策により元売りの実質仕切価格の変動は抑えられ、依然として小幅な値動きに留まっている。1月からは補助金の上限額が毎月2円ずつ引き下げられ、5月には25円となる。緩和措置は9月まで継続されるため、国内市況は安定する見通し。目先、横ばいの見込み。
型枠合板		○			○			○					○				○		12×900×1,800mm輸入品で枚当たり2,250円と前月比変わらず。現地が雨季となっているため、人荷量は低水準で推移。こうしたなか、新規の引き合いが少なく、ひっ迫感はない。流通筋は仕入れ高の積み残しを販売価格に反映したい意向だが、有力需要家の多くは当面の必要量を確保済みのため、小口当用買いに徹している。荷動きが閑散とする状況下、在庫整理による安値販売が見えられている。年度末の決算に向けて売り上げ確保の動きが強まるとの見方も出ており、目先、弱含みの見通し。
形鋼		○			○			○					○				○		200×100でトン当たり129,000円と前月比変わらず。流通各社は採算確保に向け、値上げ未達分を早期に転嫁したい意向。しかし、荷動きは低迷し、需給のタイト感が乏しいなか、数量確保を目的とした安値販売も散見されるなど、高値浸透は困難な状況。主力メーカーは電力料金の上昇など製造コストの増加を背景に、価格優先の販売姿勢を崩していない。流通各社も、値上げ交渉を継続する構えだが、需要回復にはまだ時間を要するとの見方が大勢で、目先、横ばいの公算大。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

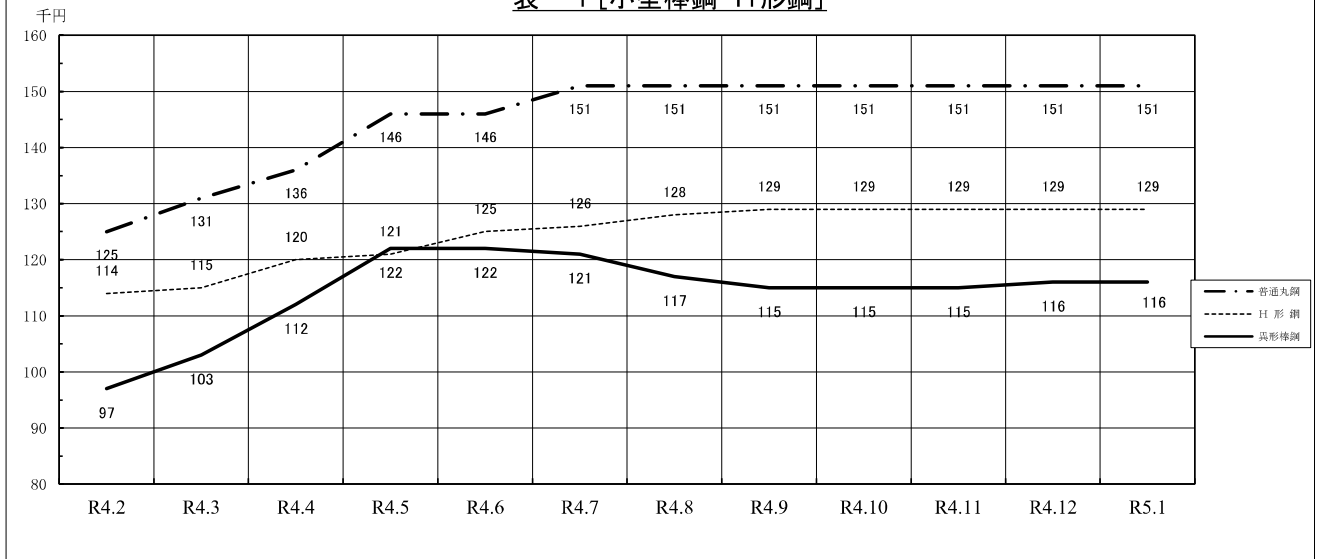


表-2 [セメント・生コン]

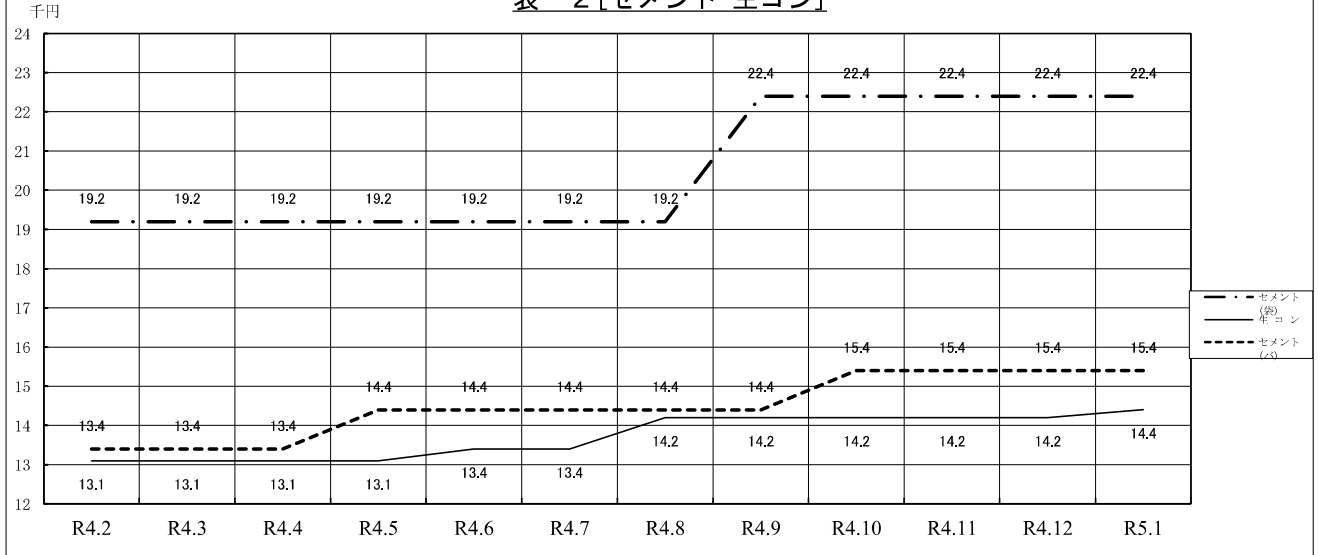


表-3 [骨材]

